

第 35 回 受精着床学会総会・学術講演会

O-44

鳥取県, 2017.07.20-21

胚凍結結果メール配信システムについてのアンケート調査

○林 祐希、幸池 明希子、宮本 有希、大住 哉子、長滝谷 芳恵、関藤 孝昭、
石川 裕子、井上 朋子、森本 義晴
HORAC グランフロント大阪クリニック

【目的】

採卵周期に全胚凍結をする治療では、従来は患者に診察に来院して貰い胚凍結結果を伝えていたが、昨年より胚凍結結果メール配信システムを導入した。今回、このシステムに関してアンケート調査を実施したのでその結果を報告する。

【方法】

アンケートは体外受精を実施し胚凍結予定の患者を対象として、紙媒体もしくは電子媒体で 2016 年 4 月から 2016 年 12 月まで実施した。尚、電子媒体は診療予約に利用している診療予約システムアットリンク@link (株式会社オフショア：以下アットリンク) に事前にメールアドレスを登録して貰い、アンケートをメールで送信した。アンケート形式は胚凍結結果メール配信システムについての評価を「非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い」の五者択一回答形式、その評価理由を複数回答形式、その他の意見を自由回答形式で行った。尚、アンケートは一人一回答の仕様にした。

【結果】

アンケートの回収率は 41.1% (137/333) で、紙媒体 32.4% (12/37)、電子媒体 42.2% (125/296) であった。胚凍結結果メール配信システムについての質問のうち「非常に良い」「良い」の回答がそれぞれ 33.6% (46/137)、41.6% (57/137) であった。それらの理由について、「凍結個数を早く確認できるから」「来院回数を減らせるから」の回答がそれぞれ 38.2% (94/246)、28.9% (71/246) であった。また、その他の意見としては「受精個数も知りたい」などがあった。

【考察】

今回のアンケート結果より、本システムを導入したことは患者の満足度向上に繋がったと確認できた。今後は IVF 管理システム (株式会社 TMR システムズ：wish) とアットリンクを利用したメール配信システムの導入も検討しており、メール配信内容を充実させることで、さらなる患者満足度向上を目指したいと考えている。